

## NAMコレクション2026 第Ⅲ期

2026年11月19日(木)～2027年2月15日(月)  
長野県立美術館 本館 2階 コレクション展示室



長谷川青澄《月(石山)》1990年

生誕110年 飯山市出身

## 日本画家・長谷川青澄を紹介

長野県にゆかりのある作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された長野県立美術館のコレクションから、一年を通して、洋画、日本画、工芸等さまざまなジャンルの収蔵品を展示します。2026年度の第Ⅲ期では、本年生誕110年を迎える飯山市出身の日本画家・長谷川青澄(1916-2004)を取り上げます。

|      |                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 展覧会名 | NAMコレクション2026 第Ⅲ期                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 会期   | 2026年11月19日(木)～2027年2月15日(月)                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 休館日  | 水曜日、年末年始(12/28～1/3)                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 会場   | 本館 2階 コレクション展示室                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 開館時間 | 9:00～17:00(展示室入場は16:30まで)                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 観覧料  | コレクション展(本館・東山魁夷館共通)<br>一般 700(600)円、大学生及び75歳以上 500(400)円、高校生以下又は18歳未満 無料<br>※( )内は20名以上の団体料金<br>※割引の併用不可<br>※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料<br>※大学生及び75歳以上の方は身分が確認できるものをご提示ください<br>※長野県内の大学等に通う学生は無料(詳細は当館ホームページ参照)<br>※1/28(木)～2/9(火)(休館日を除く)は観覧料が無料となります(東山魁夷館がメンテナンス休室のため) |
| 主催   | 長野県、長野県立美術館                                                                                                                                                                                                                                                                               |

※諸般の事情により、会期などに変更が生じる場合があります。最新情報については当館ホームページをご覧ください。

## ■ 報道関係のお問い合わせ

長野県立美術館 総務課 広報係 (※2026/4/1～ 担当課・係名が変更となりました。)  
〒380-0801長野市箱清水1-4-4(善光寺東隣) ホームページ:<https://nagano.art.museum>  
TEL:026-232-0052 FAX:026-232-0050 E-mail:nam-pr@naganobunka.or.jp

## 展覧会概要

### 生誕110年 長谷川青澄

長谷川青澄は、現在の飯山市に生まれ、院展を中心に活躍した日本画家です。本展では、青澄の生誕110年を記念し、出世作から代表作まで、青澄の院展出品作を一挙にご紹介します。大和絵を学び、西洋絵画の影響を受けた青澄は、源氏物語や古典芸能などの伝統的な主題を、大胆な構成と重厚な絵肌によって現代日本画に昇華しました。その真骨頂を見ることができる第75回院展内閣総理大臣賞受賞作《月(石山)》や、舞手と奏者の配置がユニークな《京舞・花の旅》など、大画面に展開される優美で迫力ある作品世界を、ぜひご堪能ください。合わせて、当館が所蔵する長野県ゆかりの日本画家による院展出品作品から、青澄と同じ時期に出品された作品を3点ご紹介します。



長谷川青澄《京舞・花の旅》1969年

### 疎開作家と県展のはじまり

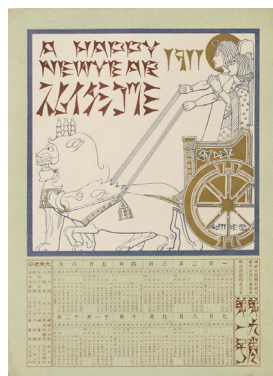
小特集では、前章で特集する長谷川青澄が画業の初期に長野県美術展覧会(県展)で受賞を重ねたことを起点として、県展とその前身である全信州美術展覧会を取り上げます。長野県では、疎開作家の石井柏亭らの呼びかけによって、終戦から間もない1945年11月に第1回全信州美術展覧会が開催されました。出品目録からは、当時弱冠16歳の草間彌生が入選していることが分かります。県内作家の育成と活躍の場として現在まで続く県展のはじまりの様相を、日本画の町田曲江、矢沢弦月、伊東深水、洋画の石井柏亭、小山敬三、篠原新三、須山計一、彫刻の石井鶴三、工芸の北原三佳、杉田禾堂ら、県展の立ち上げに関わった作家たちの作品と貴重な資料からご紹介します。



石井柏亭《画室小集》1949年

### カンディンスキーとその時代

企画展「カンディンスキー 世界は鳴りひびく」[11月7日(土)～12月27日(日)]開催にあわせ、カンディンスキーが生きた時代から現代にいたるまで、彼とさまざまななかたちで接点をもつ、当館所蔵の芸術家たちの作品をご紹介します。カンディンスキーと深い関わりのある出版社から版画を発表したケーテ・コルヴィッツ、日本におけるカンディンスキー受容の最初期になった石井柏亭や杉浦非水をはじめ、池田満寿夫、杉田禾堂、浦野吉人らによる多彩なアプローチの軌跡をたどります。



杉浦非水『みつこしタイムス』  
第9巻第1号 1911年



池田満寿夫《女の肖像》1960年

## 主な展示作品

| 作家名   | 作品名              | 制作年  | 技法・材質            |
|-------|------------------|------|------------------|
| 長谷川青澄 | 月(石山)            | 1990 | 紙本彩色             |
| 長谷川青澄 | 京舞・花の旅           | 1969 | 紙本彩色             |
| 石井柏亭  | 画室小集             | 1949 | 油彩、カンヴァス         |
| 杉浦非水  | 『みつこしタイムス』第9巻第1号 | 1911 | 印刷、紙(グラフィックデザイン) |
| 池田満寿夫 | 女の肖像             | 1960 | ドライポイント・アクアチント、紙 |

## 関連イベント

### ギャラリートーク（担当学芸員による展示解説）

日 時：2026年12月19日(土) 14:00～

会 場：本館 2階 コレクション展示室

参 加 費：無料(観覧券が必要となります)

申 込：不要(ご参加の方は、14:00までに本館2Fコレクション展示室入口にお越しください)

※諸般の事情により、イベント内容の変更や入場を制限する場合があります。

※障がいのある方やサポートが必要な方、手話通訳や要約筆記を希望される方は、2週間前までにご連絡ください。

## NAM コレクション 2026 年間スケジュール

第Ⅰ期 ▶ 2026年5月21日(木)－8月17日(月)

第Ⅱ期 ▶ 8月21日(金)－11月17日(火)

第Ⅲ期 ▶ 11月19日(木)－2027年2月15日(月)

第Ⅳ期 ▶ 2027年2月19日(金)－4月27日(火)